

## 1 研究主題 「国語の学力を高める授業の研究」

### 2 主題設定の意図

今年度の国語部の研究は、昨年に引き続き「国語の学力を高める授業の研究」である。子どもの学力向上のために、どのような工夫をすればよいのか？ このことを授業で明らかにしていく。その視点として、

- できないことをできるようにするための工夫。
- 分からないことを分かるようにするための工夫。
- 学んだことを次の学習、次の活動へ生かせるようにするための工夫。
- 授業が楽しい。明日の授業が楽しみだと思わせる工夫。

このような視点を手掛かりにして、授業改善を図るための実践・研究を推進する。

### 3 研究の概要

11月13日(水)、上越国語教育連絡協議会、上越市立教育センターとの共催で研究会を実施した。前半は小学校のスーパーティーチャーの寺島元子教諭の授業を参観し、その後、小学校部会、中学校部会に分かれ、協議会を行った。

### 4 研究の実践 ～小学校の実践から～

授業者：上越市立春日新田小学校 寺島 元子 教諭

＜单元名＞ 第4学年 「労災病院のみなさんに伝えよう」

教材名「アップとルーズで伝える」



＜单元の目標＞

- ・アップとルーズを対比し、長所と短所を読み取り、映像や写真が発信者の意図や目的に合わせて選ばれていることを理解する。
- ・アップとルーズの特徴を生かして選んだ写真を分かりやすく説明しながら、コスモス畑の活動を紹介する文章を書く。

＜授業の構想＞

- ①単元を貫く言語活動としての新聞作り
- ②読みの学習と表現活動を関連させた『読み書き関連单元』
- ③対話や相互交流による協同的な学び

### 5 成果と課題

今年度も昨年度に引き続きスーパーティーチャーの卓越した授業を参観し、協議を行った。寺島教諭の豊かな表情、児童をやる気にさせる語り、分かりやすい発問・指示等、教師の指導力の確かさを、授業参観によって学ぶことができた。

授業の山場では、「新聞でも、映像と同じように伝えたい内容に合わせてアップとルーズを使い分けている」ことを理解させるために、「謙信公祭」を報じた二つの新聞記事を取り上げ、検討する活動を行った。ペアトークや話し合いを中心に子どもたちは活発な話し合いを行い、自分の考えをまとめていた。

このように、子どもの実態に応じた言語活動を設定し、分かりやすい授業構成、誰もが活躍できる授業形態、確かな指導技術等を学ぶことができた公開授業だった。

来年度以降は研究主題と協議会における小中分離型の形態の是非を検討しなければならない。日々の授業と学校研の研究が常につながっているような取組にしていきたい。